

## 進路指導課

### 1 今年度の重点目標

3年間を貫く計画的かつ組織的な質の高い進路指導により生徒個々の能力を伸ばし、学ぶ意欲を喚起するとともに、高い次元の進路目標の早期確立とその継続、そして第一志望校への進路実現率の向上を目指す。

- (1) 設定すべき高い進路目標に対し、第1学年より意欲的・主体的に取り組む姿勢を養い、その目標の達成を目指す。
- (2) 各学年会、教務課、SSH、NSHとの連携を密にし、時宜を得た進路情報と方策の提供ができるように努める。
- (3) 生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択できるよう、探究型学習とキャリア教育を推進し、自発的な学習姿勢、進路意識の涵養と健全な職業観の育成を図る。

### 2 具体的な方策

- (1) 早期の進路志望確立を目指し、「大学見学会」や志望大学の「オープンキャンパス」に積極的に参加させる。
- (2) 高い志望を掲げる生徒の増加を目指し、進学講演会・難関大説明会の開催、進路だよりの発行など、質の高い進路情報の提供を図る。
- (3) 3年間を見通した進路指導を確立し、教務課、学年進路係と共に時宜にかなった資料の提供を目指す。
- (4) 個々の進路希望と学力の状況を確認するため、計画的に進路検討会や模試分析会を実施するとともに、学年全体として指導すべきことを助言する。
- (5) 二次学力の増強と把握のため、土曜ゼミや補講において「習熟度別授業」や「探究型学習」等を活用して効率的・機能的に運用する。校内模試の充実と外部模試の精選を図り、進路指導・学習指導に一層役立てる。

### 3 達成目標

- (1) 「大学見学会」、「オープンキャンパス」、「進路講演会」の内容を充実することによって、早期に進路志望を確立させ、難関大学や金沢大学への進路実現率を高める。
- (2) 模試の分析を密にし、それを生かした入試検討会を実施し、より効果的なものにする。
- (3) 3年間の進路指導の流れ（1・2・3年進路指導計画表）を活用する。